医療・福祉施設

社会福祉法人 興邦会
『特別養護老人ホーム しもべ荘』（山梨県身延町）

ヒートポンプ給湯

贈呈理由 ヒートポンプ給湯機を利用したハイブリッド給湯方式の導入により省エネ・省コストを実現

特別養護老人ホーム しもべ荘

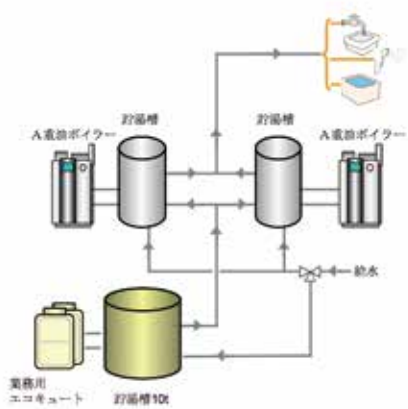
業務用エコキュート

機械浴

「しもべ荘」は、武田信玄の隠し湯で有名な下部温泉郷にあり、井伏鱒二の小説のタイトルにもなった雨河内川の河畔に建っている。

地域との交流を深められるように、地域の人々に開かれた施設として2001年に建てられた特別養護老人ホームで、豊かな緑、水、光、眺望を多くとり込み、自然のふところで心から安らげる環境を生かした施設である。

■システム図



高効率で環境性に優れた業務用エコキュートを採用

従来、風呂用の給湯設備には重油ボイラを利用していたが、ボイラ使用時に発生する排気ガスが環境に与える影響を懸念し、またエネルギーコストの面でも、近年の重油高騰による燃料費増大も問題になっていた。

そこで、環境性に優れ、高効率運転による低コストな業務用エコキュートの採用を検討し、他施設の実績も多く故障等のトラブルも少ないことから採用に至ったが、お風呂需要の多い時期も考慮し、既設重油ボイラを残置しハイブリットな設備構成とした。

今冬の高需要時でも湯切れもなくまかなえることを確認でき、エコキュートの採用は有効だったと感じている。

業務用エコキュートは夜間電力を使って65℃のお湯を夜間10tの蓄熱槽に蓄え、昼間の風呂に使用している。13年秋に導入後、一次エネルギー消費量は、シミュレーション上では50%の削減となった。

今後も利用者さまの快適空間を求めて、さらなる省エネルギー・省コストを図っていく方針です。

一次エネルギー消費量削減効果

今回採用システム	熱源機:日本サーモエナー製 GEC-10M×2台 貯湯槽:10,000 L×1台	
従来システム	重油焚き温水ボイラ×2台(昭和鉄工 真空式温水機 SV-2504ECA) 貯湯槽:2,650L×2基	削減率 −50%

〔緒元〕同一空調負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
電気(全日):9MJ/kWh(※) A重油:39.1MJ/ℓ(※)

(※)「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(10年改正)

社会福祉法人 興邦会
特別養護老人ホーム「しもべ荘」

所在地:山梨県身延町常葉7058−1
蓄熱設備設計:日本テス㈱
蓄熱設備施工:日本テス㈱
延床面積:3,620㎡
竣工:2013年(更新)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート
30kW×2台〔日本サーモエナー〕
貯湯槽:10㎥